参考資料１

大正区の「良いところ」や「魅力的なもの」について（概要版）

- 皆様から頂いた大正区の「良いところ」や「魅力的なもの」について、大きく５つに分類わけさせていただき、それぞれの内容とその具体例・エピソードを概要的に記載しております。
- グループワーク時の参考資料としてご活用ください。

■自然・景観

No	内容（要約）	具体例・エピソード
1	「水に囲まれた島のようなまち」で、水辺の風景が日常にある	川・港・運河の風景が生活に溶け込む。川沿いの遊歩道で散歩やジョギングができ、「心地よい風」「水都らしさが濃い」と表現。
2	夕日・夜景・初日の出など、空と水の景観が強い魅力	鶴町の夕日、内港に沈む夕日、昭和山からの眺望、橋の上からの初日の出、鶴町市営住宅高層からの夜景など。
3	橋が多く、構造物としても景観資産	千本松大橋（めがね橋）のループ感を「遊園地みたい」との声、なみはや大橋の急勾配（ベタ踏み坂）や新木津川大橋・千歳橋など“スケールの大きさ”が魅力として挙がる。
4	公園・緑が多く、四季を感じる	千島公園・昭和山が“区のシンボル”。桜、どんぐり、散歩・ジョギングコース、公園が多く子どもが遊べる
5	工場風景・港湾風景が「大正らしい美しさ」	工場と住宅が混ざる景観、配管の長いパイプラインなど“工場萌え”視点。国道43号より南側の工業地帯は「昭和の高度成長期のまま見学しているよう」との声も。

■ 歴史・文化

No	内容（要約）	具体例・エピソード
1	沖縄文化が根付く「リトル沖縄」	エイサー祭り（千島・平尾）、沖縄料理店、三線の音が聞こえるなど。保育所でエイサーを取り入れて子どもが踊る、沖縄物産が買える店がある等、生活文化として定着
2	ものづくりの歴史・産業文化が街の核	中小製造業・町工場の集積、オープンファクトリーや「大正ものづくりフェスタ」など“見せる・伝える”動き。工場閉鎖跡が公園になり石碑が残るなど、産業史が点在
3	渡船・橋・港湾インフラが、都市形成史を今に残している	渡船が現役。大型船舶を前提にした橋梁構造、水門・運河など「水都大阪」らしさが学び/観光資源になり得る。
4	平和学習・地域史を語り継ぐ土台がある	南恩加島小学校の「十六地蔵」や、徳島県つるぎ町との交流・慰霊の継続など、反戦・平和への学びが学校行事として息づく。
5	地域の記憶が点在、“語れるスポット”が多い	近代紡績工業発祥の地記念碑、木津川飛行場跡の碑、ロケ地（映画・ドラマ）、朝ドラ「純と愛」巡礼（平尾商店街）等。

■ 暮らし・コミュニティ

No	内容（要約）	具体例・エピソード
1	人が親切で、ほどよい距離感	困っている人に誰かが声をかける、見過ごさない、笑顔が柔らかい。「干渉しすぎない」「おせっかいもあるが温かい」と両面で語られる。
2	地域活動・イベントが活発	区民まつり、キャンドルナイト、水遊び、商店街イベント（ルンウキマーケット等）、精霊流し、プロギング、子ども食堂など
3	子育て・世代間交流が生活の中にある	幼稚園で地域の方から茶道を教わる。子ども・子育てプラザ、日曜開催のサークル、駄菓子屋での見守りなど「地域が子を受け止める」姿勢
4	安心感：子どもが夕方まで外で遊べる・治安が良い	6時頃まで公園で遊べる、犯罪が少ない。顔見知りが多い安心感。
5	生活コストが抑えやすく、飾らず暮らせる	「環状線沿線なのに家賃が安い」「見栄を張らず生活できる」。穏やかで静か＝「都会の中の田舎」。
6	企業と地域の共存・貢献が見える	中山製鋼所の植樹や清掃活動／更生保護への協力雇用主（栄伸開発）／施設外周が常にきれい等

■ グルメ・レジャー

No	内容（要約）	具体例・エピソード
1	地元に「推し店」が多く、食の満足度が高い	「丸吉」のあっさり餃子、「楠モト」の惣菜・弁当、「いしだ」の天ぷらそば、沖縄料理店（うるま御殿等）、どて煮、からあげ等、日常使いの店名が大量に挙がる
2	スイーツ・パン・駄菓子など“買い食い”も楽しい	「パティスリーLier」のおざぶ、「ツルヤ」のシュークリーム、「ロンパル」のハニードーナツ、駅前のパン屋など。子どもが1人で買い物練習できる駄菓子屋の価値も言及。
3	沖縄グルメ・物産が日常的に楽しめる	沖縄料理店が多数／デイリーヤマザキ大正店で沖縄限定商品／物産店の黒砂糖など
4	スポーツ施設が揃っている	マリンテニスパーク北村／スポーツセンター・温水プール（アゼリア大正）/グラウンドや体育館など様々なスポーツ施設が充実
5	大規模商業施設・レジャー施設	京セラドーム・タグボート大正、IKEA、東京インテリアなど区外から来場が見込める施設がある。

■ 交通・アクセス

No	内容（要約）	具体例・エピソード
1	バスが強く、主要エリアへ“乗り換え少なく”出られる	本数が多い／遅くまで運行／朝夕ラッシュは急行あり。「なんば・梅田・あべの・天保山へバス1本で行ける」など、生活の足として定着。親切なアナウンスの運転手さんが印象に残ったという声も。
2	JR環状線・地下鉄への接続も使えて、都心が近い	大正駅から環状線・メトロで移動でき、環状線は快速停車もある。便利だが街は騒がしすぎない
3	渡船が“日常交通”として残る希少性	大阪市の渡船8か所中7か所が大正区。無料で自転車も乗れて、水面が近い非日常が日常にある。「散歩コースに、橋で渡って渡船で帰る」など。子どもが“お船に乗れる”のが楽しいという声も。
4	車移動がしやすい道路環境	大正通りが広い（3車線）／歩道・自転車道も広い／混みにくい／橋も多いので車があれば便利
5	平坦で移動しやすく、特に高齢者に優しい	坂が少ない／徒歩・自転車・シルバーカーでも通いやすい